

令和7年度 伴学区エルモ 地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・ホームページの開設、電子回覧板（CocBan）の活用及びデジタルサイネージの運用を通して地域内に情報の発信が出来た。
- ・拠点があることで、相談や打合せをしやすい環境が整った。また、事務局員を雇用することで、役員事務負担の軽減を図ることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	あいさつ運動（夏休みラジオ体操）	(11)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月20日 ～ 令和8年8月31日	
(2) 実施場所	伴学区内 15 町内会 34 会場	
(3) 参加者数	1, 0 0 0 人	
(4) 主催団体	伴学区老人クラブ連合会	
4 取組内容	平成 23 年から伴学区社会福祉協議会が勧めている「あいさつ運動」に伴学区老人クラブ連合会が賛同、協力して「あいさつ運動」・「ラジオ体操」双方を盛り上げる為に、参加した子供達に参加賞として鉛筆を一本ずつプレゼントした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	「あいさつ運動」・「ラジオ体操」を通じて地域の人たちと顔見知りになり、笑顔で挨拶が出来るとなれば良い。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	子供達と大人が毎朝会場で挨拶することにより、最初はぎこちない挨拶が徐々に慣れてきて心地よい挨拶に変わってきた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	野菜づくりカフェ等	(11) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	伴地域の農地・山林、JA広島市伴支店	
(3) 参加者数	野菜づくりカフェ(座学)参加延389人、(実践)参加延54人	
(4) 主催団体	協働労働団体アグリアシストとも	
4 取組内容		
農園での植付け・収穫、野菜づくりカフェ等の機会づくり		
① 座学 時間:13時半~15時半 場所:JA広島市伴支店		
開催日	内容	参加人数 ^(注1)
4月8日(火)	肥料、農薬、農業資材の紹介	45(38)人
5月13日(火)	有害鳥獣対策と雑草対策	43(40)人
6月10日(火)	夏野菜の栽培のポイント	38(35)人
7月8日(火)	夏野菜の管理について	46(43)人
8月12日(火)	秋冬野菜の品種と作型	40(37)人
9月9日(火)	秋冬野菜の栽培のポイント	52(49)人
10月14日(火)	冬野菜の管理について	38(34)人
11月11日(火)	果樹の管理とせん定方法	39(37)人
2月10日(火)	土づくりと農業知識の基礎	48(45)人
注:カッコ内は指導者等含まず。参加費ありの数		
② 実践 時間:午前中 場所:アグリアシストとも農園(伴中央7丁目)		
開催日	内容	参加人数
6月4日(火)	草刈り・土づくり・畝立て	13人
6月8日(日)	さつまいもつる植え	14人
11月16日(日)	さつまいも収穫	15人 ※芋持帰りの場合500円 (1人または1家族)
12月18日(木)	植木剪定実習	12人
※野菜づくりに興味・関心のある方を対象に、基礎から学ぶ機会づくりを行った。		
※農園等の管理(草刈、栽培)は上記日時以外で行い、実践機会をつくった。		

5 目的・効果

(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)

(1) 目的

- ① 伴地域において、農業従事者等の高齢化・後継者不足により、管理が行き届かない農地、山林が増加し、不法投棄等や害獣被害を誘発する恐れがある。また、地域資源の活用が十分できず、景観の維持も困難になりつつある。
- ② 農のあるライフスタイルが実現できる郊外住宅地域の魅力を伝え、楽しみながら農地を活かし守る仲間、住みたいと思える地域をつくるため、子どもから大人まで参加できる畑での体験活動とともに、野菜づくりを学ぶ(座学)機会をつくる。農に触れ、魅力を発見し、交流する機会を創出する。

(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)

- ① 地域資源を活用し、住民同士の交流機会をつくれた。農家ではない住民も野菜づくりを学ぶ機会、地域の畑に訪れる機会をつくり、座学と実践を合わせて、延443人が集まった。昨年度より回数を増やすことができ、参加者同士が知り合うきっかけにもなった。
- ② 豊かな地域資源を知るきっかけとなり、新たな担い手や地域の魅力づくりにつながる一歩となっている。今後の野菜づくりカフェへの参加や援農への希望、農を軸にした交流イベントの相談などが寄せられた。次年度以降は、実践内容を充実しながら、交流機会を増やし、新たな仲間づくりにつながるよう努めたい。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	ボランティア促進事業	(11)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区	
(3) 参加者数	50人	
(4) 主催団体	伴学区エルモ、伴学区社会福祉協議会	
4 取組内容	伴学区および近辺大学の学生を対象にボランティア活動に参画する人を募集し、若い世代の方や近隣の大学に呼び掛けてボランティアに参画してもらった。 具体的な活動内容としては以下のとおり。 1 伴学区社協が行っている「ボランティアバンクとも」においてボランティア参加者を増やすための広報活動（ボランティア募集をしているイベント等への参加の呼びかけ）を実施。 2 「ボランティアバンクとも」登録者に対しての情報提供、参加者のとりまとめ。 3 イベント等参画者に対してとしほなどの報酬配布を行った。 4 「ボランティアバンクとも」のボランティア活動に参画することを検討した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	現在ボランティアを行っている方たちの高齢化が進み、福祉においても老々介護となるケースが多くなっている。現在、各協力団体が主催で行っているイベント等は主に役員の方が中心に活動しているが、高齢化もあり、イベントの開催が難しくなっているため、ボランティアを募集し、参画してもらおう。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	伴学区社協が行う「ボランティアバンクとも」の登録者募集と併せて町内会連合会の回覧により募集を行った。12名の新規登録者を得て、登録完了通知を送付しイベント等において必要な場合は協力をお願いする旨を伝えたが、そのような機会はなかった。 課題として、新規登録者の中には高齢者も多く含まれており、若い世代のボランティア登録まで広げることができなかった。今後は経費支出を伴わない事業として継続していく予定である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	協力団体サポート事業	(11)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	伴学区エルモ事務所	
(3) 参加者数	30人	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	伴学区における各協力団体に対し、以下のサポートを行った。 1 資料作成サポート 2 ラミネートサポート 3 テブラサポート 4 資料電子化サポート 5 物品貸し出しサポート 6 資料等保管サポート 7 ホームページ更新サポート	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	各団体の役員は複数の団体の役員を兼ねている場合もあり、事務負担が大きく、役員の担い手不足の要因にもなっている。そこで、各団体運営における負担を軽減するため、特に事務作業や特殊な機器・スキルを必要とする作業についてエルモにて代行作業を行い、負荷軽減を図る。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	エルモ構成団体からの依頼(会議資料作成・印刷等)も多数受け、団体の負担軽減に大きく貢献している。サポートの一環として、主に体育協会の使用頻度が高いながら老朽化が進んでいるバレーボールのポールを新規購入し、軽さや使いやすさから利用者に喜ばれている。今後も本事業には重点を置き継続していく予定である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	広報活動	(11)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区	
(3) 参加者数	5, 000人	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	伴学区に居住する方に対し、エルモで行っている事業内容や学区内で行われているイベント情報を発信した。 具体的な活動内容としては以下のとおり。 1 LINE 公式アカウント・Instagram・電子回覧板（CocBan）を活用した情報の発信 2 デジタルサイネージによる情報の発信 3 広報誌の発行による情報の発信 4 地元イベントでのブース出展	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	現在、紙媒体などにより、イベント等の周知を図っているところであるが、様々な世代に広報を行うには課題がある。更なる周知を図っていくため、SNS やデジタルサイネージなどを活用し、学区内で行われるイベント情報の発信及び伴学区エルモや各協力団体の活動内容を発信する。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	電子回覧板（CocBan）については、イベント（伴学区ふるさと祭り）での出店による登録支援やチラシの回覧等により、登録者が200名余りに達している。また、フレスタ沼田店に設置したデジタルサイネージについては、公民館やスポーツセンター、地域包括支援センターなどから掲載依頼が多数届けられ、町内会に加入していない不特定多数の住民に対する広報手段として一定の成果をもたらしている。広報誌やチラシ等の紙媒体、Instagram・CocBan、デジタルサイネージの組み合わせにより、タイムリーで幅広い広報活動を行うことができている。今後もより効果的な広報活動を目指して継続していく予定である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	情報の収集	(11)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区	
(3) 参加者数	5, 000人	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	学区内の住民からの意見・情報を収集した。 具体的な活動内容としては以下について検討を行った。 1 インターネット上で相談・意見収集の窓口設置 2 ワークショップによる意見収集 3 子供の意見収集を目的としたアンケートの実施	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	持続可能な組織運営を行っていくにあたり、住民からの意見・情報を収集し、活動に反映させていくことが必要となる。このため、ワークショップの開催やアンケートの実施などにより、住民からの意見・情報を収集できる仕組みを構築する。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	現状の相談・意見収集窓口はほとんど機能しておらず、ホームページの改善とつなげたシステムの構築を検討していく必要がある。ワークショップの開催やアンケートの実施は有効な手段とは考えているが、実現には至っていない。 今後は経費支出を伴わない事業として継続していく予定である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	児童クリスマス会プレゼント	(11)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月13日 ～ 令和7年12月13日	
(2) 実施場所	伴児童館	
(3) 参加者数	90人	
(4) 主催団体	伴地区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	児童館主催のクリスマス会で子ども達に交通安全教育、声かけなど日常生活での注意事項等の教育及びビッグプレゼントを渡した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 毎年子どものお楽しみ会として12月児童館にてクリスマス会が実施されている。今回、児童の安全教育を含んだ教育とビッグプレゼントの希望があった。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・子どもの福祉を計ることは勿論、交通安全を始め自分の身を守る行動教育を実施した。 ・影絵を作成しクイズ形式で実施し子供達に喜んでいただいた。 ・サンタの衣装を購入しサンタになって子供達と地域の方が交流した。 ・プレゼントも今までと違い手作りクリスマスカードを含め喜んでいただいた。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	子どもの安心・安全を守る事業	(11)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等	(1) 実施期間 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日 (2) 実施場所 伴小学校区内の公園（1箇所） (3) 参加者数 （公園を利用する児童数） 500人（伴小学校児童数930人から推計） (4) 主催団体 伴学区エルモ	
4 取組内容	子どもたちが、安心して安全に遊べる公園にするために、公園に時計を設置した。 なお、購入する前に、安佐南区役所（維持管理課）にどんな時計を設置するのか申請し、許可を得た上で、今年度は沼田公園に設置した。 また、設置後はチラシでの広報や地域の見守り活動等を通じて周知を図り、子どもだけでなく大人へも意識付けを行った。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 現状、時計のない公園では時間の確認ができないため、遅くまで遊んでいる子どもたちも見られ、時計を持っていない子どもは、近所の人に時間を確認している状況であり、防犯上の観点からも対応が必要である。安心して安全に遊べる公園にするために、公園に時計を設置し、帰宅時間を順守させることで、子どもの健全育成にもつなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 今年度は沼田合同庁舎に隣接する沼田公園のポールに設置した。これにより、子どもたちの時間感覚と防犯意識の醸成につながっていると同時に、沼田合同庁舎の管理面の問題（時計を見に入ってくる子どもが館内を汚す）の解消にもつながった。 今後も伴小学校区内の候補地を募り、継続していく方針である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	介護予防運動教室	(11)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	沼田老人いきいの家 大集会室	
(3) 参加者数	610人	
(4) 主催団体	伴学区社会福祉協議会	
4 取組内容	この運動教室は、伴学区社会福祉協議会が月2回、地区のボランティアすみれのメンバーのサポートによって毎回専門の講師を招聘して、地域の高齢者の健康維持・増進、生活習慣病の予防、転倒防止、精神的健康の向上を目的として開催されるもので、毎回専門の講師が運動プログラムにより、椅子やタオルなどの器具を利用したり、ヨガなどの運動も取り入れたりして血行の促進や呼吸法など様々な運動を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	この運動教室は、地域の高齢者の社会参加を促し自立した生活が少しでも続くように、結果的には公的医療費の削減に寄与し、皆様の健康寿命を延ばすことを目的とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	この運動教室は、筋力・バランス能力の維持向上がみられ、転倒防止および日常生活動作の自立に効果が認められた。また継続的な参加により外出機会と交流が増加し、心理的な活性化にも寄与した。これらの結果は地域における介護制度の推進に資するものであり、今後も継続的な取り組みが重要であると考えている。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	伴学区防災町民運動会	(11) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年12月31日	
(2) 実施場所	伴小学校上グラウンド	
(3) 参加者数	800人	
(4) 主催団体	伴学区町内会連合会	
4 取組内容	伴学区防災町民運動会を令和7年4月20日に実施した。 ・ 内容：火事だ逃げよう、防災借り物競走 など ・ 協力：広島市安佐南区役所、広島市安佐南消防署、広島市立沼田高校吹奏楽部、日比野病院	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 新型コロナウイルス流行以後、地域住民同士の交流機会が少なくなり、つながりが薄くなっている。 ② 近年、自然災害が多発しており、日ごろから災害に備えることが必要。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ① 地域住民の多世代の交流を図ったことで、地域住民同士のつながりづくりのきっかけとなった。 ② イベントの中に防災に関わる競技を取り入れたことで、楽しみながら地域住民の防災意識の醸成につながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	親子三代ソフトバレーボール大会支援	(11) 事業中(11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和7年8月31日	
(2) 実施場所	安佐南区スポーツセンター	
(3) 参加者数	107人	
(4) 主催団体	伴地区スポーツクラブ	
4 取組内容		
子ども会が無くなり、また町内会へ加入していない方も増えたことにより、子どもチームの参加者を集めるのに大変苦労している。 そこで、子どもに、お弁当とお茶を提供することにより、参加者を増加を図る。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 子どもチームの参加者を増やすために、ソフトバレーをチームで競技することにより子ども同士のふれあいの時間を作ることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 子どもチームの参加者が増えることにより、この大会は、地域の大人も参加するので、地域の方の応援もあり、地域活性化に繋がった。		